

# 月刊 襷(たすき)新聞

## 復刊 第一四九号

(二〇二〇年一月発行)



法政大学陸上競技部  
長距離ブロック駅伝チーム  
襷新聞の会事務局

### 【箱根駅伝本戦に向けて】

## 第一次富津合宿

# 総勢十九名で実施！

合宿参加メンバー	
4年	須藤拓海 奥山智広 田辺佑典
3年	鎌田航生 河野祥哉 清家陸 中光捷
2年	内田隼太 川上有生 河田太一平 徳永祐樹 中園慎太郎 松本康汰 山本恭澄
1年	稲毛嵩斗 高須賀大勢 細迫海気 三原伶王 宗像直輝

今年も箱根駅伝前の最終調整合宿が千葉県富津市で始まった。合宿期間は十一月二十九日から十二月三日迄の五日間。この富津合宿では普段の多摩キャンパスではなかなか出来ないロードを使った質の高い練習ができるほか、厳しい冷え込みに襲われる多摩とは異なり海沿いの温暖な気候の中集中して練習に打ち込める。更には海岸通り付近のコースを走るため海風、山風、ビル風が気まぐれに吹く箱根駅伝を想定した対策ができる。この合宿が終わると箱根駅伝まで一か月を切ることから最後の追い込み期間、最後の選手選考として重要な合宿となる。この合宿は例年秋までの練習の消化度や、

秋のロードレースの結果から選抜された二十人前後が参加している。しかし、今年も、上尾ハーフや世田谷ハーフマラソンなどの毎年本学から出場している大会がコロナウイルスの影響で開催されなかったため、練習の消化度や富津で行われた二十キロタイムトライアル、各記録会の結果により選考された。今年十九人の選抜選手の参加となり、まずはここからエントリーの十六人が選考されていくことになるだろう。四年生は箱根駅伝予選でチームを出場に導いた奥山を含む三人、三年生はチームの主力となる鎌田や清家、箱根予選会でも好走した河野を含む四人、二年生は直近の記録会で好記録を連発した松本康汰、富津二十キロタイムトライアルで存在感を見せた川上など最多の七人、一年生からは予選会で好走した稲毛を筆頭に宗像など五人が参加する。練習メニューは距離走に加えて、近年のレース高速化に対応するべくレースを意識したペース走とインターバルなどが行われている。各選手がこの練習の意図を理解した上で箱根駅伝に向け身体を仕上げているかどうか本番の結果に直結することになる。

一方で多摩組も当然ながらその間は練習が平行して行われている。十二月十日のエントリー締切り前に、エントリーの選考を兼ねた重要な練習が全員に予告されている。多摩組の中にもその練習に標準を合わせている者も多い。ここで富津合宿参加の選抜組にどれくらい喰らいつくことができるのかはチーム全体の纏まりや士気の向上にも繋がるだろう。更に十二月には国士館記録会と平成国際大学記録会への出場が予定されており、そこに向けて練習に励んでいる者もいる。チーム全体が最終目標である箱根駅伝に向けて何ができるのかを考えて行動することでチームが一丸となることができるだろう。箱根駅伝に向けていよいよ大詰めとなってきたが、チームが一つとなって最後、最大の目標である「八位以内」に向けて頑張っていきたい。次頁では夏合宿が中止となったチームが、一年振りに行った富津合宿の練習風景を紹介する。【記事 鈴木 快】



Wエースの鎌田と松本を先頭に練習に励む選手達

# 一次富津合宿の練習風景

今年夏合宿が中止になったため、合宿として一年振りとなった富津合宿の最終日の練習は三千m×四本。今シーズン顕著になったスピード化に対応するため設定タイムを例年より上げて実施した。三本目まで脱落者なく実施して、フリーとなった四本目は多くの選手がトラックでの自己記録を大幅に更新するほどの充実した内容で一次の富津合宿を打ち上げた。(襪新聞の会)



一本目スタート(先頭は田辺)



スタート前、坪田監督の練習内容の説明



鎌田 河野



集団後方から撮影



一本目の中間地点通過



松本康汰



細迫 宗像



稲毛



須藤 川上



山本恭澄 高須賀



内田



松本 河田 鎌田



中園 細迫 須藤



中光 高須賀



富津岬の突端を通過



集団を引っ張る稲毛(1年)



故障から復調の中光



清家



奥山



給水テーブルの消毒



マネージャー松本 竹村



中光 河野 内田 須藤



三原 中園 河田



徳永

「お疲れ様でした。二次合宿も頑張ってください。」



須藤 稲毛



田辺ほか 多数



内田 松本康汰



河田 細迫 鎌田

「クールダウン」

## 「三大学（法政・國學院・帝京）合同練習会」

### 富津で二十kmタイムトライアル実施

#### 川上（二年）が六十分切りで三位

#### 四年生の田辺も好記録で続く

十一月十四日に千葉県富津市に於いて二十kmのタイムトライアルが行われた。例年、箱根駅伝に向けて重要なレースと位置付けられている上尾ハーフマラソンは十五日に開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止。更に世田谷ハーフマラソン、高島平ロードレースも中止となったこともあり、これらの大会の代替えとして國學院大学、帝京大学、本学の三大学合同練習会という形で二十kmのタイムトライアルは行われた。

この合同練習会でのタイムトライアルのスタート前まではチーム単位で行動するなど、新型コロナウイルス感染防止対策を取った上でお互いに刺激を合い二十kmレースの実戦形式で実践感覚を養った。

本学からは、糟谷、鈴木、田辺、中村（四年）、中光（三年）、川上（二年）、宗像、細迫、高須賀、長橋（一年）が出走した。また、このタイムトライアルには、東洋大学の西山選手が特別参加してスタートから集団を引っ張った。

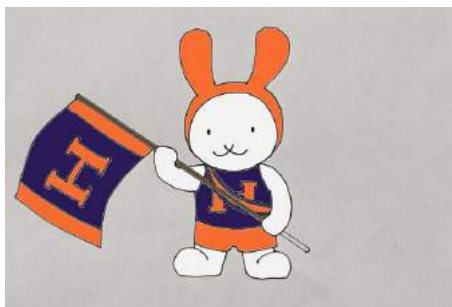
本学の選手では、スタートから田辺、川上が先頭集団でレースを進めた。その後方集団は五km通過で十五分を切る程度のペースで進んでいった。中光、中村は序盤から集団にはついていかずに単独で終始ペースを進めていった。十km以降先頭集団のペースアップに反応して果敢に喰らいついたのは川上。田辺も先頭集団から離されながらも粘りの走りを見せた。その後方集団には



好記録で学内一位の川上

## 出場選手のタイム

学内順位	選手名	記録
1位	川上 有生（2年）	59:37
2位	田辺 裕典（4年）	1:00:10
3位	宗像 直輝（1年）	1:01:11
4位	鈴木 快（4年）	1:01:31
5位	中光 捷（3年）	1:01:50
6位	中村 雅史（4年）	1:03:22
7位	細迫 海気（1年）	1:03:51
8位	糟谷 勇揮（4年）	1:04:48
8位	高須賀 大勢（1年）	1:04:48
DNF	長橋 悠馬（1年）	—



鈴木と宗像が付き、その集団を引っ張る場面も見られた。そして、川上は、中盤までの勢いそのままに五十九分三十七秒の好タイムでフィニッシュした。本学では川上に続いて田辺がラスト五kmでペースを上げる走りで六十分十秒と続いた。十五km地点まで同じ集団にいた鈴木と宗像は十五km通過後の坪田駅伝監督からの「宗像、最後アピールしてこい！」の声掛けに反応してペースアップして六十一分十一秒でゴールした。そこから鈴木が六十一分三十一秒で続いたが後半の五kmでタイムを落としてしまい、結果として箱根に向けては厳しい結果となってしまった。また、鈴木に続いては、故障からの復調著しい中光がゴールした。今回の富津二十kmタイムトライアルレースが初めての二十kmとなった一年生は後半の走りに苦戦して失速してしまった。しかし、一年生にとっては年内に一度二十kmを経験することができたのは今年の箱根駅伝に向けて距離に対する不安を払拭するも良い機会になったに違いない。今回の二十kmタイムトライアルは様々な方が動いてくださったことにより実現したものであり、より一層箱根駅伝を迎えることが当たり前のことではないと実感させられるものとなった。箱根駅伝までは、あと少しの期間しか残されていないが、その中で感謝の気持ちを忘れることなくチーム一丸となって箱根駅伝に向かっていきたい。【記事 鈴木快】

## 【第九七回 法政大学対関西大学陸上競技定期戦】

### 「日本で最多回数を誇る定期対校戦」

# コロナ禍の中、関大関係者の努力で開催

## 今年も対校戦で強さ発揮!!、連勝&自己ベスト続出!

### 千五百mは松本康汰、五千mは中光が制す!!

十一月八日(日)に法政大学対関西大学の陸上競技定期戦が行われた。関大との対抗戦は毎年交互に当番校になって行われており、第九七回目を迎える今年も関大が当番校となっていた。また、今年は新型コロナウイルスの影響で開催自体危ぶまれたが、両大学のスタッフおよび選手の徹底した感染対策のお陰で無事開催することができた。長距離種目は千五百メートルと五千メートルが行われ、本学からは六名が出場した。以下、レースの詳細と選手のコメントを紹介する。

全体のトラック種目の二番目に行われた千五百メートル(対校・O.P.)には鎌田(三年)、内田、松本康(二年)の三名が正選手として出場した。三人とも先月行われた箱根駅伝予選会では自己ベストの快走を見せ、非常に駅伝シーズンが楽しみな選手達である。そのため、今回の対校戦も大いに期待されていた。レースはスタート直後に法政大エースの鎌田が飛び出し、

最初の四百メートルを六十一秒前後で通過した。かなりのハイペースで通過したが、そこから鎌田がやや失速してしまい、二周目以降は全体としてペースが少し落ちてしまった。しかし、それに即座に反応した松本康は六百メートルを過ぎたあたりからペースを切り替え、他の選手を置き去りにした。その後、後ろからラストスパートで関大の選手や鎌田が猛追してきたが、しっかりとそのまま首位を守り、三分五十一秒の大会新記録で勝ち切った。後半なんとか粘り、レース



1500m(先頭は優勝の松本康汰)

### (中・長距離の対校戦種目の順位と記録 : オープン除く)

1500m		5000m	
1位 松本 康汰	3' 51" 45	1位 中光 捷	14' 23" 01
3位 鎌田 航生	3' 54" 70	2位 池田 一貴	14' 44" 85
4位 内田 隼太	3' 56" 61	3位 中村 雅史	14' 47" 37

をまとめた鎌田も三分五十四秒の大会新記録で三位に入り、上級生の意地を見せつけた。序盤からしっかりと集団の中で淡々とペースを刻んだ内田も三分五十六秒の五位でゴールした。三人ともスピード練習を行っていない中でこのレースだったが、しっかりと自分の定めたプラン通りにレースを進め、次につながるレースであった。全体のトラック種目の終盤に行われた五千メートル(対校・O.P.)には、正選手に中村(四年)、中光(三年)、池田(二年)の三名、O.P.選手に鎌田、松本康の二名が出場した。中村は昨年、一昨年とこの種目で優勝しており、三連覇が期待されていた。また、中光や池田も夏の成果をどれだけ発揮できるかに注目されていた。レースは三連覇に期待のかかる中村を先頭に最初の千メートルを二分五十一秒前後で通過した。その後、徐々に全体のペースが落ち始めたタイミングで千五百メートル三位の鎌田が前に飛び出し、積極的に集団を引っ張った。集団は三千メートルを八分四十五秒前後で通過し、鎌田はもう一段階キアをあげた。それに食らいついたのはこれまでしっかりと自分のリズムを刻んでいた中光だった。ラスト千メートルになるとさらにペースを上げ、そのまま十四分二十三秒の自己ベストで対校戦五千メートルを制した。その後、鎌田、松本康(O.P.)がゴールした。序盤からしっかりと集団で流れていた池田も後半はやや苦しいレースとなったが、最後のスパートで中村に競り勝ち、対校二位の十四分四十四秒でゴールし、続いて中村がゴールした。気候的には十一月とは思えないくらい暑さや強い風が吹いており、コンディション的にはあまり良いものではなかったが、その中でしっかりと法政大学の強さを見せつけたレースだったのではないだろうか。また、優勝した中光はこれまで故障などもあり、何度まで壁にぶつかり試行錯誤しながら練習に取り組んできた。今回のレースが中光自身の何か「きっかけ」となったのではないだろうか。これからの彼の活躍にもぜひ期待したい。また、折からのコロナ禍によって、開催が危ぶまれましたが関西大学陸上競技部、O.B.会の関西大学陸上友会の皆様の努力により途切れることなく行われましたことに、心より感謝申し上げます。【記事 清家 陸】



5000m(自己記録で優勝した中光)

## 「選手コメント」

今回の関西大学との定期戦には、六名の長距離選手が出場しました。その全員のコメントを次に紹介します。え



中村 雅史

日頃から多大なるご支援、ご声援ありがとうございます。四年の中村雅史です。今回自分は五千mに出場させて頂きました。今年はコロナの影響で試合が無く、自分自身今回がシーズンの初戦となりました。今回の結果としては目標にしていたタイムよりかなり遅いものとなってしまい、自分としても反省するところが多いレースとなりました。法政大学の選手として走るレースも残すわずかととなり、箱根駅伝まで残りの日数も少なくなってきたので、今回の反省点を生かして、チームの目標である箱根駅伝八位を勝ち取りたいと思います。



中光 捷

いくつもの大会が中止になる中、関大戦に出場する機会を頂いたこと、大会を開催して頂いたことに感謝しています。その中で自己ベストを出して、自分の走りを出来たことが一番の収穫でした。これまで自己ベストの更新や自分の走りが出来なかったことに苦しんできました。更に今年に入ってからもD・Tや練習で上手く結果を残せず、今回の関大戦も自信をあまり持てていない状態での出場となりました。しかし予選会のメンバーの力強い走りから流れを貰えたと言ったこともあり、強い気持ちでレースに臨むことが出来ました。レース後坪田さんには「きつかけ」という風に言われました。このレースをきっかけに更に上を目指して練習していきたいと思えます。



鎌田 航生

今回の関大戦の千五百mを走りました鎌田航生です。今回のレースでは、今後に向けてはスピードに課題を感じるレースとなりました。久しぶりに走ったこともあり、上手く千五百mの感覚が掴めませんでした。また、一緒にレースをした後輩の松本康汰にはスピードの切れ味という面ではまだ及ばないということを実感しました。しかし今後スピード化して行く長距離界で戦っていくにはそういったところも対策を立てなければならぬので、今後の課題として精進していきたいと考えています。最後にこれから箱根駅伝に向け最終段階に入っていきますので、去年のリベンジ目指して頑張るので応援宜しくお願いします。



松本 康汰

千五百mと五千mに出場させて頂きました松本康汰です。今回はスピード練習と追い込んだ後に五千mを楽に走ることを目的として出場させて頂いたと思います。千五百mでは多少の力みはありましたが、一着でゴールでき収穫あるレースをする事が出来ました。その後五千mも余裕を持ちながら走る事ができたのでよかったです。ここから個人としては日体大記録会、平成国際大学記録会があり、富津台宿、箱根駅伝と続いていくので、個人としてもチームとしても勢いよく箱根駅伝まで突っ走っていきたくと思っています。今後ともご声援よろしくお願ひします。



内田 隼太

千五百mの正選手として走った二年の内田です。結果は五着でした。予選会後、足の状態が良くなかったため設定を設けてのレースとなりました。昨年の六大学対抗戦ぶりに千五百mのレースだったため新鮮でも楽しい試合となりました。今年にはコロナの影響でトラックの試合が少ない状況でしたが、その中でも様々な対策をして大会運営を下された役員の方々や関西大学の皆様には感謝しています。また関西大学の選手との試合を通して良い刺激を貰うことが出来たので、箱根駅伝に向けて調子を上げていき、結果を残せるよう練習に励んでいきたいと思えます。



池田 一貴

大学に入学してから怪我続きで中々試合に出ることができず、五千mに関しては凡そ二年ぶりとなりました。余り練習を積めていない中でのレースだったので試合の感覚を取り戻すことと次に繋がる走りをすることを意識して挑みました。序盤からペース感覚を上手く掴めず苦しみましたが、同期の松本康汰が終始先導してくれて踏ん張る事が出来ました。試合感覚を取り戻せたとは言いがたいですが次に繋がる走りは出来たかなと思います。また、一〇月に行われた箱根駅伝予選会では同期が七人も出走し、チームを引っ張る姿に僕自身もとても勇気を貰いました。来シーズン以降、早く皆に追いつけるように怪我には気を付けつつ、ここから頑張っていきたいと思えます。



開会式(優勝杯返還)



5km(ペースメーカーする鎌田に中村、中光が続く)



5km(池田を引っ張る松本)



対校戦終了後の両校の記念撮影



## 箱根駅伝 応援メッセージ

# エール「ガンバレ選手達！」

駅伝チームは、本号の紙面でお伝えしました通り、富津合宿を予定通り打ち上げ、今月十日のエントリー選手の選考に向けている段階にあります。櫻新聞の会事務局長は、読者の皆様からの頂きました熱い「応援メッセージ」を御紹介します。今大会での「八位以内」を目標に掲げた駅伝チームの選手達に「大きな力」となることでしょうか。



### 若倉 和也 昭和六十年卒（法友陸上クラブ会長）

本番の箱根駅伝までもう僅かとなりました。今回の予選会は、今までにない高速レースとなり、伝統校・常連校が落選する中を見事なレースでの突破、今年度も箱根路で法政大学の姿を見ることができると、とても嬉しく思います。また十一月に入ってからはいままで出場できなかった鬱憤を晴らすかのような記録会での好走、厳しい状況乗り越えてきたからこの結果だと思います。活動自粛により思うような練習ができず、また合宿にも制限がかかった状況の中、ここまでやってきてくれた選手・スタッフには感謝しがあります。まだ取り巻く環境は大変ではありますが、今年のこの環境の中ですべてきたこと、やってこられたことは皆さんの大きな財産となるはずで、それを自信に、大会当日は思い切り楽しんで走ってください。悔いのない走りを目指しています。

### 渡井 新次郎 昭和四十七年卒（静岡県富士宮市在住 長距離OB）

激戦の中、予選通過おめでとうございます。さすが、坪田監督の采配は参加大学の中でも随一のものがありますね。選手の皆さん、監督の教え、指示に従っていければ間違いないと思います。監督、本戦もよろしくお願ひします！  
そして、選手の皆さんの力走を期待しております。ガンバレ法政！



### 金子 奉之 昭和五十九年卒（法友陸上クラブ副会長）

第九七回箱根駅伝予選会八位通過、本当にお疲れ様でした。有難うございました。今回のオレンジエクスプレスのキャッチフレーズとなった「怒濤の追い上げ」、ハラハラしましたが必ずやってくると思っていました。坪田監督の号令一過であれだけのビルドアップどのチームでもできるものではありません。コロナ禍での練習制限、関東インカレはじめ、重要な試合の度重なる中止、大学からの夏合宿中止要請。多分、戦時中にも匹敵するような代も経験しない苦難の中、監督や仲間とマネージャーやトレーナーとの強固な信頼関係の中、培われた固い絆がある事を確信しました。全員ベストとは本当に素晴らしいです。

でも、これで満足できる皆さんではないとコメントから感じます。その苦難と努力は何物にも変え難く深く皆さんに刻まれていると思いますので目標八位の達成をお祈りしております。もう、OBとしては、皆さんが夢の箱根駅伝にベストコンディションで臨み悔いなく力を出し切って頂ければ順位は関係ないのですが、チームとして目標を貫いてください。箱根駅伝八位。近年で振り返ると第九三回大会で足羽さん、坂田さんが四年生で佐藤さん、青木さんが一年生の時です。あの時も路は耐えに耐えて凌ぎ、復路は六区の佐藤さんの好走から怒濤の追い上げでシートを勝ち取りました。勢いという点で大変、似ています。是非、「疾風怒濤」のオレンジ旋風で皆さんが「満足して」大手町にゴールされる事を心からお祈りしております。



### 杉原 有 昭和四十七年卒（愛知県在住 短距離OB）

「学友、校友合わせて五四万名の熱い心。」天国から、海外から、そして北海道から沖縄までの学友、校友がHのマークのオレンジを誇りに熱い心で期待していることを今一度心に刻んで頑張ってください！残すところ一ヶ月、今日できることをやり切れれば結果は着いてくる。

### 島田 茂夫 昭和四十七年卒（埼玉県在住 長距離OB）

今年の箱根液駅伝予選会に向けて、チーム強化に最も重要な夏合宿がコロナウィルス感染拡大での中止を乗り越えて予選会に勝ち抜いたことは、本当に嬉しかったです。後は本戦で八位目標達成！怪我、体調管理に充分留意し、本戦での目標達成することを心から祈念申し上げます。引き続きチーム一丸となって頑張ってください。



**根岸 繁夫** 昭和四十六年卒（練馬区在住 長距離OB）

まずは、箱根駅伝予選会を後半の怒涛の追い上げで見事に通過し、本戦への出場を決めて本場に良かったです。改めておめでとうございませう。新型コロナウイルス感染拡大の終息の兆しが一向に見えない中、箱根を目指す選手たちにとって最も大事とも云える、夏の時期に合宿が出来なかったというハンディキャップを見事に跳ね除けての通過、本場に御苦労様でした。私たちは、ただ頑張れ、頑張れのメッセージしか送ることが出来ませんでした。予選会での法政の選手の皆様の走りを見ては、感謝の気持ちで一杯でした。選手・スタッフの皆様たちにとっては、予選会は通過点で、本戦で目標達成に向けては最後のひと月が本場の勝負と思います。櫛新聞の予選会後のコメントを見ても自信が感じられます。自分を信じ、監督、仲間を信じ、全力で戦い抜いてください。



**久保田 寿男**（法政大学後援会クラブ役員）

まずは、予選会突破おめでとうございませう。櫛新聞「一四八号」のトレーナールームの記事に、予選会突破は「チーム力」とありました、納得です。箱根駅伝本番も、その「チーム力」がレースを左右するだろうと思います。箱根駅伝本戦まで残された期間は僅かですが、個のレベルアップと同時に「チーム力」を強固なものとして本番に挑んで欲しいと思います。出場回数では、次の箱根駅伝で「八一回」と名門を誇る法政大学です。目標の「八位」シード権、「チーム力」で奪い取る熱いレースを期待し応援します。頑張れませう！



**小須田 博司**（HSC箱根駅伝応援実行委員長）

あたり前があたり前でなかったこの一年。もがき、苦しみが、がんばった。そこにはいつも仲間がいた。家族がいた。そして私たち応援者が。沿道で声は出せなくてもお茶の間で日本一の応援をします。一人一人の声は必ず君たちの胸に届くと信じて。だから、君たち自己を信じて走って欲しい。努力は裏切らない。栄光は自ら掴み取るもの。作るもの。みんなの想いを乗せ、チーム『法政』は一つになって栄光を目指し、二〇二二年新春を駆け抜ける。

# 第97回箱根駅伝 頑張れ 法政！ はしば寿司

「はしば寿司」は新鮮なネタを提供する寿司店として地元で愛されています。真心を込めて握りました「はしば寿司」の寿司を是非お召し上がりください。



電話：042-377-1408  
営業時間：11:00~13:30  
16:30~22:00  
休業日：毎週水曜日



〒206-0812  
東京都稲城市矢野口1770

### 【アクセス】

京王よみうりランド駅下車  
徒歩3分





**山本紀一郎**（相模原市：法政グラウンド近くに在住）

箱根駅伝予選通過、本戦出場決定おめでとうございます。何時もですと法政が予選会出場の際は立川の会場に行き、選手達を激励し応援していました。予選会通過した後はスタッフ、OB、関係者の皆さんと市内に繰り出して祝杯を挙げていたのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で会場に行くことが出来なくて、テレビで妻と応援しました。最初の5kmで十七位、10kmで十六位、どうなるかと思っていました。鎌田君、清家君がチームを引っ張り選手の走りの勢いが画面からも伝わってきて15kmで十二位、18kmで十一位、ゴール地点で十人通過が六番目でやったと思いき、妻が祝杯の準備しましたが結果発表を聞くまで安心出来ず、八位通過と聞いて二人で「おめでとう」と、大声で祝杯を挙げました。今年は二月頃からコロナ、コロナで何事も自粛で学校での練習もできず、個々の自主練習の中で本当に大変だったと思います。特に新入生は、学校のこと全然わからず、全てが手探りの状態で不安だったことでしょう。夏合宿もできなくてスタッフの方々は選手の体調管理、特にコロナ対策や練習スケジュール等、本当にご苦労様でした。このような環境の中、選手の皆さんは本当に頑張りました。その結果が予選会に繋がったと思います。・・・厳しい中での練習ですが、予選会の後半に見せた粘りの再現では非、本戦八位入賞を目指してください。身近にコロナ感染が出ています。どうか、体調管理には十分気を付けて、悔いの残らないよう、練習頑張ってください。本戦は、自粛の為コースには応援に行けません。テレビの前で応援します。選手・スタッフの皆様、やるぞ法政！八位以内入賞！！



**工藤 寛正**（秋田市在住）

戦術と総合力による予選通過、本当におめでとうございませす。真の強さを感じ大変喜んでおります。私の住む東北日本海沿いの秋田は、例年より早い初雪：厳しい冬の到来を確実に伝えております。この時期に空を見上げれば：遠くシベリア方面からやってくる白鳥や雁の渡り鳥の、V字編隊の群れだ！その雄大さ スピード 一糸乱れぬチームワーク その総合力に感動し、しばし立ち止まり眺めています。渡り鳥には、V字編隊の謎をはじめ解明できない分野も多いと云う：まさしく予選会で示したチーム法政！！諸君と同じではないか計り知れない総合力による未知の魅力：他校にとつて、とてつもない脅威になると確信しております。「目標を持つ者だけが成功する」必ずや目標達成を成し遂げることになるでしょう。本戦が楽しみです！

# 第97回箱根駅伝 頑張れ！法政！！

**坂井事務所は、法政大学駅伝チームを全力で応援します！**

**社会保険・労務問題のご相談は、当務所へ**

【著書:多数】

（ 当事務所は創業30年の実績を有し、これからも皆様に認めて頂けるよう、サービスを進化させていきます。 ）



## 社会保険労務士法人 坂井事務所



JR山手線 代々木駅下車 徒歩2分  
都営大江戸線 代々木駅下車 徒歩2分

☎ 03 (3370) 6135



所長 特定社会保険労務士  
坂井 求(陸上競技部OB)S48年卒



# みんなの広場



HSC(法政スポーツコミュニティ)

箱根のネット応援を企画!

山(五区)で八人抜き関口さんオンライン解説

二〇二一年一月二日・三日開催の第九十七回箱根駅伝は、新型コロナウイルスの感染が拡大している現状に鑑み、主催者の関東学連からの要請により沿道での応援が禁止されているニュースは読者の皆様にも届いていること、存じます。そこで、法政大学の「スポーツ応援組織のHSCが」、ホームページ内に箱根駅伝の特設ページを制作して、「おうちで応援箱根駅伝」をキャッチフレーズにキャンペーンを展開して、箱根駅伝に出場する法政大学チームの応援をする企画を立案し、実施に至りました。

ホームページの公開は、十二月九日十六時三十分からとなっております。

企画内容は、選手やスタッフへの事前応援メッセージ募集(希望者には抽選でプレゼントあり)に加えて、一月二日・三日の箱根駅伝当日は、田中優子総長から応援される皆様へのメッセージビデオ、例年沿道で応援されている皆様からのビデオ応援メッセージ、実際に箱根駅伝を経験されている関口頌悟さんの解説などをYouTubeLiveで生放送することにより、テレビの前で応援されている皆さんと一緒に応援して選手を応援していきます。

(ネットで応援箱根駅伝の詳細はホームページを御覧ください)

今回の箱根駅伝で八位以内を目標にチーム一丸となって挑む選手・スタッフに強烈なフオローになる風をテレビ画面を通じて届けましょう。宜しく願い申し上げます。(櫻新聞の会事務局)



## 湘南の疾風になれ! 頑張れ!! 法政!

株式会社 郵生(YUSEI)は第97回箱根駅伝に出場する  
法政大学駅伝チームを全力で応援します

**[YUSEI]**



【業務案内】 信頼のビルメンテナンス

株式会社郵生ではビルメンテナンスの立案、ビル管理・運営をトータルに行い、快適な空間の提供、お客様への建物の価値保全に貢献いたします。

・設備保守管理 ・環境衛生維持管理 ・清掃業務  
保守警備・受付業務 ・修繕・リニューアル業務

【交通アクセス】  
(電車)

JR平塚液より  
徒歩20分

(バス)

平塚駅 北口10番乗り場  
平塚球場下車 徒歩5分

## 株式会社 郵生

〒245-0014 神奈川県平塚市四之宮1-2-30

TEL 0463(33)3108 FAX 0463(33)3178



## 【編集後記】

今月は先月に続き野球の話をしよとうと思います。今年のプロ野球日本シリーズは、巨人対ソフトバンクでした。結果としてはソフトバンクが日本シリーズ四連覇を達成しました。四年連続での日本一はパリーグ球団初で、巨人が1965年～73年に達成したV9以来の事だそうです。この記録を見ると、勝ち続けるということの難しさをひしひしと感じます。今年もプロ野球のシーズンが終わりいよいよ冬本番を感じてしまいますが、駅伝はこれからが本番です。箱根駅伝までフルスイング、全力投球で頑張っていきたいと思います。

編集長 鈴木 快

箱根駅伝まで残り一ヶ月を切りました。今回の結果報告を見ていただいたてもわかるように、法政大学長距離ブロックは現在チーム力の転換期を迎えている最中です。レースの高速化が著しく加速する中、自分たちもそれにしっかり対応し、「箱根総合八位」、「シード権獲得」という二つの目標を絶対に達成しようという雰囲気がチーム内にあります。「二兎を追う者は一兎をも得ず」ということわざがありますが、私は二兎を追わなければ二兎を得ることはできないと思っています。二つの事を達成するのはそんなに簡単なことではありませんが、それだけの準備や努力をして万全な状態で挑むつもりです。さらにレベルアップした「オレンジエクスプレス」の応援をテレビの前からよろしくお願い致します！

副編集長 清家 陸

寒気の厳しい日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は先日、今流行りの「鬼滅の刃」を観ました。この映画でメインのキャラとなる煉獄杏寿郎は私の思う理想の上司そのものでした。来年からは上級生としてチームを引っ張る存在となるので誰からも頼られる理想の人間になりたいと強く思います。作画は綺麗で見やすく、最後には感動シーンもありとても完成度の高い作品でした。興味のある方は、観ることをお勧めします。

編集員 山本 恭澄

## 【第150号予告】

- ◎ 第97回 箱根駅伝本戦に向けて  
「富津合宿詳報」「選手エントリー発表」
- ◎ 応援メッセージ
- ◎ みんなの広場
- ◎ etc

## 【149号の主な内容】

- ・箱根駅伝レース詳報
- ・レース後の選手・スタッフコメント
- ・トレーナールーム他
- ※ 本号では11月の出来事を掲載しています。

【事情により変更もありますが御了承ください。】

## 【禪新聞の会 事務局】

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-17-6  
いづみハイツニュー茅場町511号  
Mail: : srbea@jasper.dti.ne.jp  
☎ 03-5614-0977 Fax 03-5614-0988

【編集】 阿部 一夫 鈴木 快  
清家 陸 山本 恭澄  
【写真】 鶴巻豊起 鶴巻みつえ  
阿部一夫 月刊陸上競技  
小野吉永(関西大学陸友会)  
法大陸上競技部マネージャー  
【イラスト】 平野 由紀子